

bottom line

amp two

Operating Instructions (Preliminary)取扱説明書



目次 :

1. はじめに
2. ご使用に際して
3. 操作パネル部分
4. 基本的な操作方法
5. テクニカルデータ



1. はじめに

BOTTOM LINE amp twoをご購入頂きありがとうございます。我々はお客様に、より良いものを提供したいという考えから、本製品の開発に多くの時間をかけてきました。本製品は特にエレキベース用のアンプとして開発された、プロユースに対応するコンパクトかつハイパフォーマンスなアンプです。素晴らしい音色とは、楽器本体のみからだけでなく、セット全体の中から奏でられるものです。楽器、ピックアップ、ケーブル、プリアンプ、パワーアンプ、ラウドスピーカー等、様々な要素を通して奏でられる音が、「プレイヤー自身の音」を形作って行くのです。本製品がその一部分を担うに多大な貢献をしてくれる事、それに満足して頂く事を願っております。



入力: メイン入力: 1/4インチ(6.3mm)モノラルフォン, 22mV, 1MΩ
high/low アッテネーション 10dB
エフェクト・リターン: 1/4インチ(6.3mm)モノラルフォン, -6dBV, 10kΩ
aux in: ステレオ標準フォン, -3dBV, 22kΩ
クリップインジケーター: クリッピング @+8dB

出力: チューナー: 1/4インチ(6.3mm)モノラルフォン, -6dBV
ヘッドフォン: ステレオ標準フォン, 1.7V(RMS), 100mW × 2, 32Ω
ダイレクトアウト: XLR, プリ/ポストEQ切り替え, 及び出力レベル調整可能(最大-15dBV)
サブベース: 1/4インチ(6.3mm)モノラルフォン, ±0dBV
ラインアウト: 1/4インチ(6.3mm)モノラルフォン, ±0dBV

インサート: プリ/ポストEQ, 各1/4インチ(6.3mm)TRSフォン, Tip = センド, Ring = リターン, Sleeve = グラウンド

フットスイッチ: 1/4インチ(6.3mm)TRSフォン, Tip = ミュート, Ring = エフェクト・ループON/OFF, Sleeve = グラウンド

EQ: ベース = ±8dB/80Hz
ミドル = ±15dB/200Hz—2kHz
トレブル = ±12dB/6kHz
ベース・ブースト = +10dB/55Hz
colour = -1dB/300Hz, +8dB/3.7kHz

トーンバランス: 最大値 +10dB/50Hz, +8dB/10kHz

コンプレッサー: スレッショルド = -40dB to 0dB
レシオ = 1:1 to 10:1

アナログ・シグナル・プロセッサ: AER低ディストーション・リミッター, サブソニック・フィルター

パワーアンプ: 消費電力 700W(100V 50/60Hz)
出力 240W/8Ω

メインヒューズ: 250V 6.3A スロー・ブロー・タイプ

スピーカー: 12インチウーハー(ネオジウム・マグネット)

キャビネット: バーチ材 プライウッド(18mm)

寸法: 500mm(H) × 420mm(W) × 350mm(D)

外装: 水性アクリル塗料, ブラック スパッター仕上げ

重量: 23.5kg

付属品: カバー

・電源を入れるまでの手順

本製品は日本市場向け製品であるため、日本国内（100V電源）にてご使用下さい。
本製品の電源を入れる前に、'Master'は0ポジション（反時計回りに回してそれ以上いかない箇所）に、その他全てのコントロールは中央のポジションにセットして下さい。強力なトレブルエフェクトをもつhf levelコントロールスイッチ（リアパネルに在り）をoffにしておく事を忘れないで下さい。（プッシュボタンを押しこまないで下さい。）その後配線を行って下さい。以上の手順の後、リアパネルにある主電源のスイッチを入れて下さい。緑色の電源ランプがついたら操作可能です。

・設定

'Gain'コントロールと'High/Low'スイッチはノイズや歪みを防ぐために、出来る限り本製品とシグナルソース（ベースギター、ピックアップ他）を適合させるためのものです。本製品の'Master'コントロールを0ポジションにセットした後、clipが若干点滅するまでゲインを上げて下さい。「ヘッドルーム」ダイナミッククリザーブを加えるため、ゲインを少し下げて下さい。通常clip表示はinputシグナルが大きすぎる事を意味します。若干の点滅なら問題はありません。もし適当なGain設定を見つけられなければ、シグナルが強すぎるとと思われますので'High/Low'スイッチで調節して下さい。最後にお好みの音量に'Master'コントロールでセットして下さい。必要に応じてmuteスイッチも活用して下さい。

・サウンドコントロール

本製品の3バンドサウンドコントロール・EQは技術的にも、パラメーター的にも完璧を目指すため、ミドルEQには周波数帯域を調整出来るタイプが搭載されています。

注：EQコントロールを調節するとレベル設定にも影響します。clip表示が頻繁に起こる場合は'Gain'設定を微調整して下さい。

・コンプレッサ

本製品に搭載されているコンプレッサは、最適なダイナミクスが得られるようコントロールされており、入力レベルの異なる様々なソースに対応可能です。

・フットスイッチ

Headphones：ステレオヘッドフォンが接続可能です。

注：ステレオヘッドフォンをご使用の際はステレオプラグをご使用下さい。モノラルプラグを使用されるとアンプにダメージを与える恐れがあります。

Line out：EQコントロール、エフェクトを含むマスターシグナルをアクティブスピーカー等に供給します。

Line out pre-post：Masterスイッチでアウトプットシグナルレベルをマスター音量に連動させるかさせないかを選択する事が出来ます。

Sub out：サブwooferとの接続が可能です。

Foot switch：ステレオケーブル仕様の標準的な、ダブル・フットスイッチを'foot switch'ジャックに接続して使用する事により、ミュート及び、エフェクト・ループ(send, return)のON/OFF切り替えが出来ます。(Tip=ミュート、Ring=エフェクト・ループON/OFF)

Send/Return：エフェクター等との接続が可能です。

Insert pre eq & Insert post eq：プリEQレベル、及びポストEQレベルのインサート端子です。

Tuner：チューナーとの接続が可能です。チューナーを接続する事による音の劣化は防いでおります。ミュート時にも利用可能です。

DI out：レコーディング又はPAシステムとの接続に適しています。(XLRジャック) DI out pre/post eqスイッチはシグナルがイコライザーやエフェクトと連動しているかを見る事も出来ます。

A

2. ご使用に際して

本製品をご使用になられる前に必ず取扱説明書をよくお読み下さい。以下の警告及び注意事項には必ず従って下さい。又、本取扱説明書は大切に保管して下さい。



以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体に重大な影響(死亡、重傷等)が発生する可能性がございます。誤った取扱いは、火災・感電の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。



- 本製品はAC100V専用です。それ以外の電源では使用しないで下さい。
- 電源コードの取扱いには十分ご注意下さい。重い物を載せたり、無理な負荷をかけたり、引っ張ったりしないで下さい。
- 本製品を可燃物又は、暖房機器等の熱源の近くでは使用しないで下さい。
- 本製品を濡らしたり、水をかけたりしないで下さい。又、雨・霧・雪等が発生している場合、海辺、水辺等でのご使用には特に注意が必要です。
- 本製品の上に、水の入った容器、花瓶、飲料、薬品等や小さな金属類を置かないで下さい。これらが内部に入りますと大変危険です。



- 本製品をご使用の際は、必ず付属の電源コードをお使い下さい。それ以外のものをお使いになりますと、重大な事故が発生する場合がございます。
- 煙が出たり、変な臭いや異音がする等の異常がある場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



- 本製品を分解したり、改造しないで下さい。
- AER正規代理店である弊社以外で修理・交換をされますと1年間の保証が無効となります。



- 本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。



以下の記載事項に反して誤った取扱いをすると、人体及び器物に重大な影響(傷害、器物破損等)が発生する可能性がございます。誤った取扱いは、火災・感電・製品破損の原因となりますので、くれぐれも行わないで下さい。



- 本製品を設置する際には、以下のような場所には置かないで下さい。
 - ・本体の落下する恐れのある不安定な場所
 - ・湿気やほこりの多い場所
 - ・気温が極端に低く、又は高くなる場所
 - ・通気性の悪い場所
- 本製品の接続ケーブルが人の通り道や物の下に置かれないようにご注意下さい。
- 本製品を強い電力を持つトランスフォーマー、発電機、ライト等の機器の近くに置かないで下さい。
- 本製品の通気の為に、機体の周りに充分な空間を確保して下さい。



- プラグを差し込む前に、本製品の電源がOFFになっていることを確認して下さい。
- 本製品に、オーディオ機器・楽器等を接続された後に全てが正しく接続されている事をご確認下さい。
- 電源スイッチを入れる前に、本製品のボリュームが最小になっている事をご確認下さい。
- アースに関しては可能であれば接続することをお奨めします。
- 本製品のお手入れをされる際は、全てのプラグを抜いてから行って下さい。アルコール、化学薬品等は使用せず、水気が本製品の中に入らないよう注意し、乾いた布等でお手入れをして下さい。



- 電源が入っている状態で、接続機器を抜き差ししないで下さい。機体破損の原因となります。
- 落雷の際、又は長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らずに、必ずプラグ部分を持って行って下さい。



- 音が歪んでいる状態で使い続けた場合、機体が破損したり異常に高温になる事がございますのでご注意下さい。
- 本製品の使用中に何らかの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して下さい。その際には電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いて下さい。その後、お買い上げになられた販売店へご相談下さい。



- 廃棄する際には必ず地域の条例に従って下さい。

amp two 3. 操作パネル(フロント)

AER[®]
Audio Electric Research



input 1/4インチ(6.3mm)フォン・ジャック

high/low 入力感度切り替えスイッチ

gain 入力レベル・コントロール

clip 過大入力の際のインジケーター

mute ミュート(消音)スイッチ

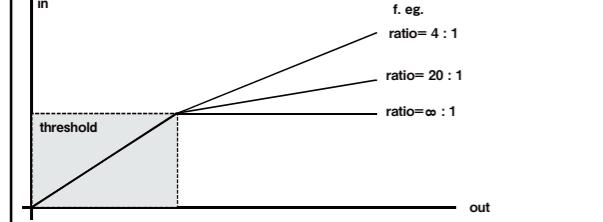
compressor

threshold 入力信号に対するスレッショルド値(圧縮開始レベル)
コントロール

ratio スレッショルド値以降の出力レベルに対するレシオ(圧縮比)
コントロール

active コンプレッサ 駆動表示ランプ

on/off コンプレッサ オン/オフスイッチ



equalizer

colour ミッド・カット・トレブル・ブースト・スイッチ

bass 低音域コントロール

bass boost 低音域ブースト・スイッチ

middle 中音域コントロール

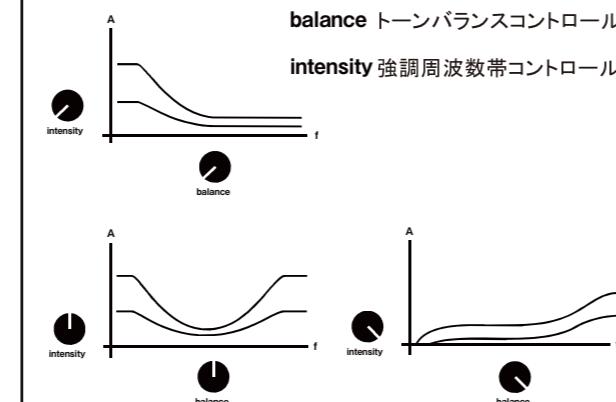
freq. 中音域コントロールのピーク周波数位置調整用

bandwidth 中音域コントロールの調整周波数帯切り替えスイッチ



treble 高音域コントロール

tone balance



master マスター・レベル・コントロール

power 電源ランプ

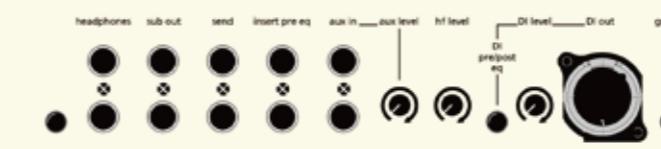
amp two 3. 操作パネル(リア)

AER[®]
Audio Electric Research

electric bass amp bottom line

amp two

AER The Acoustic People



line out/pre/post master ラインアウト信号レベル切り替えスイッチ(プリアンプ/ポストマスター)

headphones ヘッドフォン接続端子(接続した場合、メインスピーカーからは音が出なくなります)
※ヘッドフォン以外は接続しないで下さい。L.R.が内部接続されているためモノラルプラグを接続しないで下さい。

line out ラインアウト信号出力端子

sub out アクティブ・サブウーハーへの出力端子

footswitch ミュート及びエフェクト切り替え用フットスイッチ接続端子(詳細は5.の基本的な操作方法をご覧下さい)

send 外部機器への出力端子

return 外部機器からの入力端子

insert pre eq プリEQレベルのインサート端子

insert post eq ポストEQレベルのインサート端子

aux in CDプレイヤー等の外部音源の入力端子

tuner チューナー用出力端子

aux level aux in 入力レベルコントロール

hf level ■■■

pre/post DIアウト信号のプリ/ポストEQ出力選択スイッチ

DIレベル DIアウト出力レベルコントロール

DI ダイレクトアウト端子(プリマスター・レベル)

gnd lift グラウンド・リフト切り替えスイッチ

power on 電源スイッチ、電源ケーブル接続端子、ヒューズホルダー